



年末と1月の行事予定

- 12月28日(水) ~ 30日(金) 年末特別警戒
- 5日(木) 荘川支団消防出初式
- 8日(日) 二十歳のつどい
- 22日(日) 文化財防火デー訓練
- 27日(金) ハローワーク巡回

高山市図書館荘川分館

【特集のご案内】すっきり収納術
春に向けて、家の中を整理しませんか？
収納術の本を紹介します。

【年末と1月休館のお知らせ】
12月29日(木) ~ 1月3日(火)
10日(火) 16日(月) 30日(月)

【秋の叙勲及び褒章】受章おめでとうございます

11月初旬に令和4年秋の叙勲及び褒章が発令されました。今年では全国で3,999人の方が受章。荘川では下記の2人の方が選ばれました。おめでとうございます。

- 瑞宝単光章(消防功労) 水尻 高士さん(65)
- 藍綬褒章(消防功績) 平戸 芳文さん(63)



【愛・後藤杯!】飛騨地域中学生バドミントン大会 12/4(日)

AI GOTO チャレンジカップが荘川体育館で行われました。当日は飛騨地域だけでなく、岐阜や名古屋から総勢54名の参加がありました。

【大会結果】男子シングルス優勝 三島 恵亮さん



町民ひろば

新沢の大澤さん宅のかやを運ぶ所です。世界遺産五箇山合掌集落で活用されます。



牧戸の寺田 一朗さん宅で採れた大根です。面白いですね。

先月号の広報に掲載した内容に一部誤りがありました。第52回高山市民バドミントン大会 女子ダブルス2部 準優勝 【誤】遠所 叶望 【正】遠所 礼望

訂正してお詫び申し上げます。

編集後記

今年も残りわずかとなりました。コロナも少し落ち着いて、荘川でも色々なイベントが復活しましたね！サッカーワールドカップ日本代表も頑張ってくれました。皆さんも日本代表に元気をもらったのではないのでしょうか？来年も頑張らしましょう！皆様良いお年をお迎えください。M・K 《広報委員》三島 加津彦・坂上 剛・湯口 健太・栗田 雅美
◇荘川町まちづくり協議会事務所 TEL&FAX 05769-8-6005 ✉ showkawamck@hidatakayama.ne.jp

広報 しょうかわ

NO.92
荘川町まちづくり協議会
編集：広報委員
発行日：令和4年12月20日

12月1日に荘川中3年生9名が水没記念碑と桜公園の清掃をしてくださいました。この日は寒い日で雨も少し降りましたが、素手で記念碑を水で洗ったり、落葉を集めたりと、手を真っ赤にして一生懸命頑張ってくださいました。



文字が綺麗に見えるようになりました



黙祷



電源開発の方々と合流

桜公園では電源開発の方と合流し、最後に綺麗な歌声で桜の木にパワーを注入しました。3年生も桜からパワーをもらったことと思います。来年は綺麗な花を咲かせてくれることでしょう。
3年生の皆さんあ・り・が・と・う。

歌を披露



令和4年12月1日現在
()内は前月対比
人口と世帯

総人口	1,003 (-2)	総世帯	396 (-1)
男	480 (+0)	女	523 (-2)

しょうかわ〜友達の輪 27

莊川を担う若者から高齢者まで広い範囲で莊川に思うこと、そして莊川の好きなどころなどを掲載しています。第27回目は、黒谷 健太さんを紹介します。



- 名前 黒谷 健太 (くろだに けんた)
- 住んでいる地区 黒谷
- 現在の仕事 島田木工所で仕事しています。
- 現在はまっていること バラエティやアニメなどの聖地巡礼。



- 莊川の好きなどころ
 - ★自然が豊かなところ、伝統芸能。
 - これからの莊川について思うこと
 - ★人口が減少していく中で、昔はできた活動が現在ではできなくなってきていると感じます。
- 行事が少なくなることが凄く寂しいので、新しいことにチャレンジして、莊川の良さをたくさんの人に知ってもらえる機会をつくりたい。



莊川の地域医療の歴史を辿る

令和4年のコロナは若干落ち着きましたが、令和2年初めから約3年続くウイルスに翻弄される日々が続いています。莊川は都市部から孤立しているため、地域医療の重要性は比較的高く、診療所が唯一頼れる場所となっています。今回は莊川診療所の歴史を振り返るとともに、地域医療について考えます。

初代診療所
(場所は現デイサービス公社)
昭和15年8月23日建設



2代目診療所 (場所は莊川神社下) 昭和30年12月15日建設



莊川に診療所が無かった時代は、急患が出ると高山や八幡まで運ばなければならなかった。いずれも12里(48キロ)の遠隔であり、交通機関も無く、助かる命もみすみす失うことも多かった。特に積雪が多い時期は為す術が無く、富山の売薬と民間療法に頼るしかなかったという。こうしたことを受け、地域に診療所を望む声が広がりました。

3代目診療所 (場所は現デイサービス公社) 昭和43年11月20日建設

昔の医師は自宅において患者の診断を為し、投薬をしていた。明治43年9月に赤谷の北林 景德氏が村医として初めて任命された。大正の初めに喜和屋の南隣の建物で山根 銈医師が着任し、診療を開始した。その後は定期的に医師が変わるものの、地域に密着した医療が展開されるようになり、住民は安心した生活を送ることができるようになりました。



4代目診療所 (現在) 平成22年4月15日建設



平成22年4月に救急体制の向上も含め、現在の高山消防署莊川出張所の隣に新築移転されました。同じ頃からドクターヘリの運用も始まり、重篤な患者は高次医療機関に早く運ぶことができるようになりました。平成29年2月には高山市、郡上市、白川村の2市1村により県北西部地域における医療連携協定が結ばれ、より安定して診療ができるようになりました。国民健康保険莊川診療所 (医師 熊田 裕一)

【発見！】日本最古の新種の卵殻化石



莊川町で見つかった約1億3000万年前の恐竜の卵の殻が「新種の恐竜」であることが判明しました。新種の卵の殻の化石は発見者の大倉正敏さんの名前にちなんで「ラモプリズマトウーリトウス・オオクライ」と命名されました。

【ありがとう！】カラフル花もち



保育園児の皆さんが、花もちを作って支所に届けてくれました。赤・青・黄の綺麗な花もちです。あ・り・が・と・う。

【住民の意見を反映！】高山市議会 地域別市民意見交換会 11/28 (月)

11月28日に市議会議員との意見交換会を開催しました。少ない参加人数ではありましたが、中身の濃い話し合いです。皆さんからは「Aコープについて」「町屋市営住宅について」「市の火葬場について」「莊川桜について」「市有林・私有林管理について」「中学校廃校後の活用について」「産廃について」などの意見が出ました。

